

令和七年度 国語国文学科  
学校推薦型選抜・特別選抜 小論文 出題の意図

問題文の出典：太田肇著『「承認欲求」の呪縛』新潮新書、2019年2月20日発行、  
PP3～7

限られた時間の中で、出題された長文を読み解きながら自ら思考し、それを論理的に表現できているかを問うものである。

問1

- 1) 設問の趣旨を的確に捉えているか。
- 2) 課題の在所を把握し、適切に絞り込んでいるか。

問2

- 1) 具体例と関連させて説得力をもって論じているか。
- 2) 文章を整然とまとめ上げているか。

※ この「出題の意図」についての質問及び照会には、一切回答しません。

学校推薦型選抜・特別選抜 小論文 問題用紙

【問題】次の文章は、いわゆる「承認欲求」について論じた文章である。「承認欲求」について、あなたのこれまでの生活を振り返り、体験した事例や見聞きした事例について端的に述べなさい。そのうえで、「承認欲求」の功罪について、あなたの意見を自由に論じなさい（二二〇〇字以内）。

「承認欲求」という言葉が最近、ちょっとした流行語になっている。しかし残念ながら、あまり良くない意味でつかわれているようだ。

インスタグラムやエックス(旧ツイッター)、フェイスブックで私生活をやたらと公開したり、実態以上に美化して(盛って)見せびらかしたりする人。高速道路を二八〇キロで暴走する動画をネットにアップして書類送検されたケースや、アルバイトが店の冷蔵庫に入った写真を投稿し、そのコンビニが閉店に追い込まれたこともあった。

他人の話はろくに聞こうとせず、自分のことばかり話したがる人や、つねに周囲から注目されていないとがまんできない「かまってちゃん」も身近にいる。

いずれも承認欲求が強すぎるせいだ、と世間から冷ややかにみられる。

一方では、自分の心のなかに潜む承認欲求の存在に気づき、どう扱ってよいか戸惑う人も増えているようだ。秋葉原通り魔事件から一〇年以上たったいまでも、ネット上には孤独な心境を綴って殺人に及んだ加藤智大死刑囚に共感する書き込みが絶えないという。

有名な心理学者、A・H・マズローの欲求段階説で知られているように、承認欲求は本来、人間の正常な欲求の一つである。マズローによれば承認欲求は「尊敬・自尊の欲求」とも呼ばれ、他人から認められたい、自分が価値のある存在だと認めたいという欲求である。承認欲求があるからこそ人間は努力するし、健全に成長していくといっても過言ではない。また、ほかの人と協力したり、助け合ったりする動機も承認欲求から生まれることが多い。

(中略)

ところが承認欲求には、これまで指摘されてきたのとはまったく異なる異質な問題があり、とくにそれがわが国の特殊性と密接に結びついていることがわかってきた。それは注目されるための自己顕示や乱行などより、ある意味でもっと危険で、いっそう深刻な影響をもたらす。にもかかわらず周囲も、本人もそれが承認欲求のなせる業だということに気づかない。

スポーツ界で次々と発覚した、暴力やパワハラ。

社会問題化している、イジメや引きこもり。

官僚による公文書改ざんや事実の隠蔽。いんぺい

日本を代表する企業で続発する、検査データの捏造や不正会計などの不祥事。ねつぞう

電通事件をきっかけに、あらためて深刻さが浮き彫りになった過労自殺や過労死。

掛け声だけで、なかなか進まない「働き方改革」。

これらの問題の背後に隠れているのは「承認欲求の呪縛」である。じまぼくそれが水面下でじわじわと増殖し、いよいよわが国の組織や社会に重大な影響をもたらすようになったのである。

(中略)

たまたま訪ねた会社で次のような話も耳にした。あるとき社長が工場へ視察に訪れ、工作機械を巧みに操作する若手社員の仕事ぶりをほめた。そして、わかれ際に「期待しているから頼むよ」といいながら彼の肩をポンと軽くたたいた。以来、同僚からも注目されるようになった彼は、だれよりも早く出勤し、準備万端整えて仕事に取りかかった。ところが彼も、やがてメンタルの不調を訴え、休職に追い込まれていったという。

(中略)

人は認められれば求められるほど、それにとらわれるようになる。世間から認められたい、評価されたいと思いつつ、他人が念願かなって認められたとたん、一転して承認の重圧に苦しむ。

(太田肇著『「承認欲求」の呪縛』(2019年 新潮新書)による。設問の都合上、一部改変したところがある。)